

立憲民主党埼玉県第5区総支部

2022年度活動報告

(2022年1月1日～2023年4月30日)

1. 活動の概要

当総支部に所属していた高木まり県議会議員が、7月に行われた参議院議員通常選挙の党公認候補となったことから、2022年度の前半はその応援を中心に展開しました。

高木さんは、県全体では4位(定数4名)で当選し、参議院議員としての活動を進めています。県議会議員としての選挙区だった北区だけでみると1位の得票でしたが、埼玉5区全体(区分ができない見沼区の一部を除く)では目標とする1位にわずかに届かず2位の得票でした。

夏以降は、2023年4月の統一地方選挙(埼玉県議会議員選挙とさいたま市議会議員選挙)への対応を軸に活動しました。

1名が参議院議員に転じ1名が勇退される中、現職4名に加えて市議会議員から県議会議員への挑戦が1名、そして新人3名の計8名を擁立しました。しかし、一人区である大宮区と西区の県議会議員選挙では候補者を擁立できず、目標とする10名擁立には届きませんでした。

7名が当選して4年前の勢力を確保しましたが、中央区の県議会議員選挙は惜敗し、引き続き、1人区をどう奪取するかが大きな課題として残りました。

なお、統一地方選挙における当総支部の候補者は、男性2名に対して女性6名、選挙後の所属議員としても枝野幸男総支部長を含めて男性3名に対して女性5名となり、政治分野における男女共同参画推進法を着実に実行しています。

全体の活動を通じて、2020年から続く新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染拡大防止のための一定の制約は続きましたが、ある程度の緩和も進みました。また、2021年11月に党代表を退任したことで、総支部長の地元活動や総支部運営における制約が著しく小さくなりました。

これらを受けて、街頭活動や集会などを積極的に開催するとともに、再開された地域での催しものなどにも可能な限り参加しました。特に、自治体議員や統一地方選挙の候補予定者と、総支部長とが連動した活動を充実させ、国・県・市による連携を強化することに努力しました。

なお、12月28日に施行された改正公職選挙法による区割り変更で、埼玉5区に含まれていた見沼区の一部地域が埼玉1区となりました。これによって、当総支部の

所管地域も、さいたま市の北区・西区・大宮区・中央区の4行政区となりました。

2. 党員等の募集

当総支部には一般党員 228 名、協力党員 578 名が所属し、パートナーズ(一般党員等との重複を除き 14 名)を合わせて、820 名の態勢となっています(2023 年 4 月 30 日現在)。

3. 集会等の開催

4月17日に総支部定期大会を開催したのに加えて、10月1日にはレイブックホールの集会室で「党員・サポーターズ・パートナーズ集会」を開催し、国政報告に加えて自治体議員からの議会報告、統一地方選挙候補予定者の紹介を行い、参加者の皆さんからご質問やご意見を伺いました。

また、下記のとおり行政区単位で「立憲地域ミーティング」を開催し、活動報告に加えて、よりきめ細かくご質問やご意見を伺いました。

3月20日 見沼区/東大宮コミュニティーセンター

3月21日 北区/宮原コミュニティーセンター
プラザノース

4月2日 中央区/与野本町コミュニティーセンター
下落合コミュニティーセンター

4月3日 西区/西部文化センター
馬宮コミュニティーセンター

4月9日 大宮区/宇宙劇場
枝野幸男大宮事務所 5 階

11月3日 大宮区/レイブックホール
北区/プラザノース

11月6日 西区/馬宮コミュニティーセンター

11月19日 中央区/与野本町コミュニティーセンター

加えて、後述のとおり、6月19日には、党総支部が主体となりレイブックホールの小ホールで高木まりキックオフ集会を開催しました。また、7月5日にはレイブックホールの大ホールで県連主催の高木まり総決起集会が開催され、党総支部からも多くの皆さんに参加いただきました。

総支部長が毎月開催しているオープンミーティングでも、9月と2023年2月に現職を含む統一地方選挙候補予定者が参加し、それぞれの政見を訴えました。

4. 広報・宣伝活動

① 広報誌『立憲民主』号外・埼玉5区版の発行

総支部長の国会における活動と政策を中心に、立憲民主党について知っていただくため、『立憲民主』号外・埼玉5区版「えだの幸男・国会レポート」を2022年で年7回、2023年に入ってから2回発行し、ボランティアの皆さんによる協力を得て、約48万枚(2022年1月から2023年4月まで。駅頭配布等も含む。)ポスティングしました。

5月には高木さんの、12月と2023年3月には現職を含む統一地方選挙候補予定者の、それぞれ活動内容や政策などの紹介を中心としたカラーの『立憲民主』号外・埼玉5区版も発行し、それぞれ約16万枚配布しました。

現職を含む統一地方選挙候補予定者も、それぞれの議会報告・活動報告などを発行し、精力的に配布しました。

② 街頭活動

朝の通勤時間帯に実施し続けている街頭演説活動は、総支部長が党代表を退任したことや、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、2022年で年58回、2023年に入ってから統一地方選挙の告示前までで19回と、徐々に想定のペースで実施しました。

現職を含む統一地方選挙候補予定者も、それぞれに駅頭での活動を実施しました。

③ 集会告知ポスター

2022年夏前までは、高木さんと総支部長の2名を弁士とする集会告知ポスターを貼付しました。参議院選挙の直後には、総支部長と現職を含む統一地方選挙候補予定者との2名または3名を弁士とする集会告知ポスターを用意し、精力的な貼付を進めました。

5. 参議院議員通常選挙の取り組み

上記の総支部としての広報活動に加えて、「えだの幸男・国会レポート」や、「えだの幸男と21世紀をつくる会」で発行している「えだの幸男・国会通信」で、高木さんの活動や政策について掲載して周知を図りました。

6月19日(日)には、レイボックホールの小ホールで、高木さんと党の全国自治体議員ネットワークとともに活動してきた渡辺創衆参議院議員(宮崎1区)、さらには高木さんの高校時代からの友人でもある打越さくら参議院議員(新潟選挙区)をゲストに、キックオフ集会を開催しました。同日には、大宮駅東口で、両氏と総支部長を応援弁士とする街頭演説会も開催しました。

公示後は、全国の立憲民主党候補から応援要請がある中、総支部長は、午前中、

埼玉県内各地を確認団体車で遊説し、昼過ぎに全国各地での応援に向かうという日程を基本に対応しました。6月26日には、丸一日、総支部長が確認団体車で埼玉5区内を遊説しました。7月5日の夜には、党県連主催の総決起集会在レイボックホール大ホールで開かれ、党総支部所属の党员等が参加者の中心となりました。

7月10日に投開票された主な結果は、以下のとおりです。

全県=【当日有権者数:6,146,072人 最終投票率:50.25%】

当選	関口昌一	69	自由民主党	現	727,232
当選	上田きよし	74	無所属	現	501,820
当選	西田まこと	59	公明党	現	476,642
当選	高木まり	54	立憲民主党	新	444,567
	加来武宜	41	日本維新の会	新	324,476

※埼玉5区内各区

	西区	北区	大宮区	中央区	計
高木まり	8,502②	17,135①	12,203②	9,933②	47,773②
関口昌一	9,293①	15,544②	12,917①	11,267①	49,021①
上田きよし	5,166④	8,160③	8,877③	7,781③	29,984③
西田まこと	5,631③	7,085④	5,145④	4,674④	22,535④

6. 統一地方選挙の取り組み

中央区では、一人区の県議選に新人を擁立して議席獲得を目指しました。

北区では、県議会議員だった高木さんが参議院議員に転じたのに加え、伝田ひろみ市議会議員が勇退することになり、小川ひさし市議会議員が県議会議員選挙に挑戦するとともに、市議会議員選挙には2名の新人が立候補しました。

大宮区2名、西区1名、中央区1名の市議会議員現職4名を合わせて、計8名の擁立を選挙の約1年前には決定して、統一地方選挙に臨みました。

幹事長を中心に、友誼団体からの推薦を得るための活動を展開したほか、新人を中心にビラやポスターの作成などについて総支部長事務所がサポートしました。

複数候補が立候補した区では、掲示板ポスターの貼付について総支部長事務所を含めたチームで協力して行うなど、総支部として最大限連携した活動を展開しました。

選挙期間全体を通じて、総支部として確認団体車1台を確保できたことから、総支部長が9日間の運動期間中7日間、埼玉5区に張り付き、本会議などで国会を往復した時間以外は、確認団体車による流し遊説で立憲民主党への支援を訴えました。

結果は以下のとおりです。

西区	市議会議員	当選	出雲けいこ	6,872	①	定数 4
北区	県議会議員	当選	小川ひさし	無投票		定数 2
	市議会議員	当選	あいかわあやか	3,544	⑤	定数 7
	市議会議員	当選	永井りな	3,213	⑦	
大宮区	市議会議員	当選	西山さちよ	7,882	②	定数 5
	市議会議員	当選	佐伯かずみ	6,944	③	
中央区	市議会議員	当選	高柳としや	6,227	②	定数 5
	県議会議員		すずき知佐子	15,545	②	定数 1

以上

立憲民主党埼玉県第5区総支部

2023年活動計画（案）

（2023年1月1日～2023年12月31日）

1. 活動の概要

統一地方選挙を受け、新たな体制で国・県・市の連携を強化し、地域の暮らしの声を適切迅速に政治につなぐ活動を強化することで、ボトムアップの政治を具現化します。自治体議員の地域での政策活動と枝野幸男総支部長の活動との連携を強化するとともに、地域でのさまざまな催しに関係自治体議員や総支部長が参加する機会を増やします。

次の選挙は衆議院の総選挙になると思われることから、総支部長の小選挙区での圧倒的な勝利を得るため、準備活動を着実に進めます。合わせて、2年後の参議院議員通常選挙に備えて、当総支部出身で改選を迎える熊谷裕人参議院議員の再選に向けて、連携をさらに強化します。

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、党员・協力党员（サポーターズ）やパートナーズが直接参加できるイベントの開催に努力します。

具体的な総支部活動は、「立憲民主党 2023 年度活動方針」ならびに「立憲民主党埼玉県総支部連合会 2023 年度活動方針」を踏まえ、月一回を原則に開催する常任幹事会で確認しながら進めていきます。

2. 党勢の拡大

一般党员と協力党员（サポーターズ）、パートナーズの拡大を目指し、参加の呼びかけを強化します。

解散総選挙の時期を見極めながら、党员・サポーターズ・パートナーズの皆さんに気軽に参加いただける対話集会を、年内に 2 回程度実施できるよう計画を進めます。

党外のさまざまな「草の根」の声を受けとめていけるよう、サポーターズ制度も活かしながらネットワークの拡充を目指します。

3. 広報・宣伝活動

① 広報誌『立憲民主』号外・埼玉 5 区版の発行

総支部長の国会における活動と政策を中心に、立憲民主党について知っていただくため、『立憲民主』号外・埼玉 5 区版「えだの幸男・国会レポート」を年6回

程度発行し、ボランティアの皆さんによる協力を得て、50 万枚(駅頭配布等も含む)を目標にポスティングします。

解散の時期を見通しながら、カラーの『立憲民主』号外、埼玉 5 区版を発行し、16 万枚を目標に配布します。

総支部所属自治体議員等も、それぞれの議会報告などを発行し、精力的に配布します。

② 街頭活動

朝の通勤時間帯に実施し続けている街頭演説活動は、週 2 回程度という本来の頻度で、精力的に実施します。

総支部長の日程が確保できれば、宣伝カーによる流し遊説やスポット演説も実施します。総支部所属自治体議員等も、それぞれに駅頭での活動を実施します。

③ 集会告知ポスター

総支部長による集会告知ポスターの貼付を始めています。6月までに 1,000 枚を目標に貼付を広げます。